

ゾクゾク

「モノ」の歴史事典

全10巻

知りたい「モノ」の歴史が一目でわかる！

大人から子どもまで楽しめ、

「総合的な学習の時間」のレファレンスに最適。



●第2回配本
全5巻(⑥～⑩)
2000年10月刊行

●第1回配本
全5巻(①～⑤)
2000年4月刊行

知りたい時にすぐ引け
あの「モノ」、この「コト」の
成り立ち、歴史が
一目ですぐわかります。

ゆまに書房

最新、かつ詳細な年表200点

「モノ」の歴史をわかりやすく紹介。

【収録予定内容の一部】

●オルゴール／折り紙／かるた／からくり／凧／人形／花火など20点収録

●鉛筆／お金／カメラ／切手／カレンダー／コンピュータなど20点収録

●地下鉄／自転車／エレベーター／飛行機／自動車／機関車など20点収録

●印刷／時刻表／新聞／テレビ／眼鏡／顕微鏡／ド／ラジオなど20点収録

●電話／ピアノ／レコー

●靴／香水／下着／ネクタイ／帽子／化粧品／着物／鏡など20点収録

●あかり／家具／鍵・錠／暖房／敷物／トイレ／風呂など20点収録

●駅弁／米／カレー／漬物／アイスクリーム／チョコレートなど20点収録

●紅茶／牛乳／果汁飲料／水／ビール／日本酒／コーヒーなど20点収録

●公園／図書館／博物館／温泉／劇場／百貨店／遊園地など20点収録

閲覧者が図書館で

まず最初に調べたい基本図書

[ジーンズ]

1870年以前

デニムはじょうぶで、広い用途をもった生地、衣類だけではなく、馬車の幌やテントなど、数多くの使い道があった。デニム地の作業ズボンや、「ファイブ・ポケット」は存在していたが、鉄（リベット）を打ちつけた作業ズボンは存在しなかった。

1870年

アメリカ、ネヴァダ州の仕立屋ジェイコブ・デイビスが、権の女房の「じょうぶな作業ズボンを作ってほしい」という依頼で、生成色の10オンスのキャンバス地で作った作業ズボンのポケットに、補強のために、鉄（リベット）を打ちつけた。これが、今日のジーンズのはじめである。

1872年

そのジェイコブ・デイビスが、サンフランシスコのリーバイ・ストラウス社に、「ポケットに鉄を打った作業ズボン」の特許申請を依頼する手紙を書く。

1873年

「ポケット開口部の補強」の特許が認可され、リーバイ・ストラウス社が鉄打ちの作業ズボンをはじめ商品化した。1877年には、馬が引っぱっても破れないほどじょうぶということから、現在のロゴマークとなった。

1890年

リーバイス、ジーンズの代名詞ともいえるくらい世界的に有名な「501」のロット・ナンバー（商品番号）をはじめ使用。「鉄打ち作業ズボン」の特許が消滅し、誰でも製造・販売が可能になり、ジーンズはこのあと、アメリカ中に広まっていく。

明治38年（1905）

リーバイス、日本における商標登録。

1911年

H・D・リー・マーカンタイル社（のちのH・D・リー社）が作業着の製造をはじめ。「カウボーイ・パンツ」などを発売するが、これが後年、名品として名高い「101」や、現在の「リー・ライダーズ」シリーズへと発展した。

1926年

H・D・リー、パンツの前開き部分に、ボタンのかわりに世界ではじめてファスナーを用いる。

1947年

ブルー・ベル社が、「ラングラー・ジーンズ」のブランドを新たに登場させ、商品名としてはじめて「ジーンズ」ということばが使われた。

昭和25年（1950）

関東大震災の折、アメリカから送られた救助物資のなかに、ジーンズも数多くあったが、着用する人は少なかった。この年、上野アメ横の「マルセル」で、アメリカの中古ジーンズが本格的に販売された。

1955年

映画『理由なき反抗』が封切られ、ブルー・ジーンズをはいた主演のジェイムズ・ディーンの影響で、ジーンズが若い世代のあいだで急速に広まった。

昭和35～36年（1960年代初頭）リーやリーバイスのジーンズが日本に輸入・販売される。

昭和38年（1963）

大石貿易が、日本製ジーンズ第一号となる「キヤントン」ジーンズを発売する。

1969年

イヴ・サンローランがはじめて、デニムを素材にデザインを発表し、これ以降、デザイナーズ・ジーンズがあいついで売り出される。

1978年

カルヴァン・クラインがジーンズの発売を開始。1960年代には反社会的なファッションというイメージもあったジーンズだが、このころには「おしゃれ着」としても完全に定着した。

1980年代初頭

このころから、日本の若者のあいだでヴィンテージ・ジーンズ（骨董的な価値のあるジーンズ）がブームとなる。現在では日本だけでなく、アメリカ、フランスなどでもヴィンテージ・ジーンズ熱が高まっている。



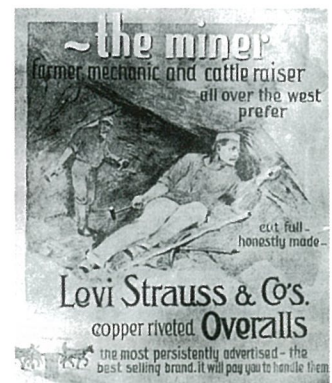
リーバイ・ストラウス社ポスター（公式に「ジーンズ」の名を使うようになったのは1955年以降のこと）



リーバイスの象徴、ダブル・アーキエイト・ステッチ



「レディー・リーバイス」の広告



20世紀初頭のリーバイスのカタログの表紙

*参考文献：『完本ブルー・ジーンズ』出石尚三（新潮社／1999）
*写真提供 本文組見本（75%に縮小）

図書館、学校に朗報 !! レファレンスに最適。

本書は多くの図書館の方々から
「こんな本をつくって欲しい」との
声が寄せられ企画されました。

私たちの生活空間には、様々な事物が溢れています。これらの事物がどのように生まれ、どのような変化を辿って現在に至ったのでしょうか。本書は、これらの「モノ」や「コト」の歴史が一目でわかるよう、多くの写真を取り入れ、わかりやすい文章で、一つの「モノ」を2頁見開きで編集し、写真で見る年表を作成しました。知っておいて損のない情報を満載。ちょっとした調べ物をしたいときに大変便利です。各家庭や図書館に必ず揃えておきたい百科事典です。

ゾクゾク 「モノ」の 歴史事典 全10巻

B 5 判上製／カバー各48頁

■各巻定価 本体2,600円＋税

(全10巻揃定価：本体26,000円＋税)

ISBN4-89714-873-1

●関連企画の御案内

詳細な年表150点を精選

参考文献一覧・キーワード索引付載

A 5 判函入・各巻900頁

■各巻定価 本体9,500円＋税

(全2巻揃定価：本体19,000円＋税)

〈上巻〉ISBN4-89714-005-6 C3500

〈下巻〉ISBN4-89714-006-4 C3500

年表
で見る

モノの歴史事典

全2巻



●第1回配本 全5巻

揃定価：本体13000円＋税 ISBN4-89714-980-0

①よそおうの巻 ISBN4-89714-874-X

②すむの巻 ISBN4-89714-875-8

③たべるの巻 ISBN4-89714-876-6

④のむの巻 ISBN4-89714-877-4

⑤いくの巻 ISBN4-89714-878-2

平成12年
4月刊行

●第2回配本 全5巻

揃定価：本体13000円＋税 ISBN4-89714-981-9

⑥あそぶの巻 ISBN4-89714-879-0

⑦つかうの巻 ISBN4-89714-880-4

⑧のるの巻 ISBN4-89714-881-2

⑨みる・よむの巻 ISBN4-89714-882-0

⑩きくの巻 ISBN4-89714-883-9

平成12年
10月刊行

◆特にお薦めしたい方

公共図書館／学校図書館／歴史博物館／
文学館／郷土資料館／学校の先生／幼稚園
の先生など

ゆまに書房

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
TEL 03 (5296) 0491 FAX 03 (5296) 0493

ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491 / Fax.03 (5296) 0493

ゾクゾク「モノ」の歴史事典

第1回配本・全5巻 ISBN4-89714-980-0 ●揃定価：本体13,000円＋税

第2回配本・全5巻 ISBN4-89714-981-9 ●揃定価：本体13,000円＋税

第1回配本

セット

第2回配本

セット

ご注文書

お名前

ご住所

取扱店

※お申し込みはぜひ当店へ。

TEL ()